



鳥羽高生が体験バリアフリー調査

1月15日、鳥羽二丁目の扇芳閣にて鳥羽高校の生徒たちが観光とバリアフリーについて考える授業でフィールドワークを行いました。

この日は鳥羽高校の3年生20人が高齢者や妊婦、車いすの体験をしながら、館内のバリアフリールームや大浴場、受付カウンターなどを調査しました。

総合福祉系列で学んでいる里中麗美さんは「車いすなどで施設を巡ることで、さまざまなかたに配慮されていることに気づけた」と話してくれました。

また、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター事務局長の野口あゆみさんは「バリアフリーに関する部分を見て気づいてもらったことを、今後どこかで活かして欲しい」と話してくれました。



1月7日、伊勢農業協同組合（JA伊勢）のかたがたが市役所を訪れ、獣害対策用品贈呈式が行われました。

JA伊勢では、深刻な農業被害を及ぼし地域課題となっている獣害対策についてさまざまな取り組みをしており、その一環として市に対して獣害対策用品を寄贈していただきました。

奥村晃常任理事は「これからもJAと行政、地域が一体となって農業振興に取り組んでいきたい」と思いを話し、中村市長は「効果が出るように大切に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

獣害対策用品を寄贈していただきました



神明神社で相差獅子舞

1月5日、神明神社で相差獅子舞が行われました。例年まちを練り歩きますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により神明神社のみでの開催となりました。

当日は拝殿にて天狗と獅子が家内安全・繁栄を願った舞いが行われました。



新春恒例凧あげ大会

1月3日、鳥羽高校のグラウンドで鳥羽市青少年育成市民会議が主催する新春凧あげ大会が開催されました。会場では協賛団体提供の鳥羽の特産品やお菓子、文具などが当たる子ども抽選会も行われました。

参加した女の子は「お正月らしいことができてよかった」と楽しそうに話してくれました。